

アフリカ 地域 研究会

TOSHIMICHI NEMOTO

191

2012/11/15



193

2013/1/24



MURAO
RUMIKO

YUKIO

192

2012/12/20



SEKI

MATSUURA
NAOKI

194

2013/2/21



参加無料、申込不要

会場) 京都大学稲盛財団記念館3階、318室・中会議室・大会議室

お問い合わせ) 電話：075-753-7803

Eメール：caas@jambo.africa.kyoto-u.ac.jp



CAAS

第193回

2013年
1月24日(木)
15:00~17:00
(大会議室)

創造性に注目し、政治経済変
動下のアフリカ農民にみら
れる諸特徴を検討する。

アンゴラ移住民は、紛争を理由に
南部アフリカのザンビア西部の農村に滞留
する自主的定着難民である。彼ら／彼女らは、故地で
あるアンゴラからザンビアへの移住後、ナショナル・グロ
ーバルレベルでの政治経済変化のなかで土地利用などに
関する制約を受けている。本講演では、アン
ゴラ移住民の生計戦略にみられる

東京外国語大学アジア・アフリカ
言語文化研究所、研究機関研究員

村尾るみこ

ザンビア西部州
アンゴラ移住民の生計戦略

アフリカ農民の創造性



H23年度京都大学アフリカ研究出版助成記念講演
H23年度総長裁量経費(若手研究者に係る出版助成事業)

第191回

2012年
11月15日(木)
15:00~17:00
(318室)

1885年のベルリン会議に
よって分割されたアフリカ大陸では、
他民族の住む地域に国境線が与えられた。
この各植民地が独立し、国民国家の形成を
目指す中、その多くが民族紛争を繰り返すことにな
った。しかしタンザニアは独立50周年を過ぎ、
大きな民族対立、内戦を経験せずに
きている。タンザニアの近現代
を19世紀半ばから振り返っ
てみたい。



Japan Tanzania Tours Ltd.

根本利通

タンザニアの国民意識の形成

第192回

2012年
12月20日(木)
15:00~17:00
(中会議室)



世界で活躍するケニアの
長距離選手。2011年に
は世界陸上で金メダル7つを獲得、
男子マラソン世界ランキングでは上
位20名全員がケニア人だった。テ
レビでは高地民族だから強いと解説
されることが多い。しかし選手の大多数の民族は、多
民族国家ケニアの全人口の12%にすぎない民族—
カレンジンである。カレンジンの人々は植民地時代
の影響で隣国ウガンダにも暮らしているが、ケニ
アのカレンジンのみが大活躍している。ケニア
の社会的背景が大きく影響している。カレン
ジンの強さの秘密をひも解いていく。

走るケニア、 その強さの社会的背景

公益財団法人日本陸上競技連盟
事務局事業部専任課長

関 幸生



第194回

2013年
2月21日(木)
15:00~17:00
(中会議室)

現在、世界中の狩猟
採集民が大きな変容を遂げて
おり、彼らの社会をグローバルな
文脈に位置つけた研究が展開さ
れている。本発表では、アフリカ
熱帯林の狩猟採集民として知ら
れるピグミーの一群であるガボン南部のバボ
ンゴ・ピグミーに焦点を当て、外部の影響に一方
的に翻弄されるわけでもなければ、伝統的な
生活をかたくなに維持するわけでも
ない、狩猟採集社会の柔軟な変
容のあり方を提示したい。

現代のへ森の民

ガボン南部
バボンゴ・ピグミーの社会変容

静岡県立大学国際関係学部助教

松浦直毅



H23年度京都大学アフリカ研究出版助成記念講演
H23年度総長裁量経費(若手研究者に係る出版助成事業)